

“ふるさとちば”のための政策推進を

阿部 絃 いち あべこう一 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

政策実現へ確かな手応え

千葉県政6つの政策課題 阿部県議真摯な取り組みへ



昨年7月から第68代県議会議長職の要職に就任し、県議会のリーダーとしてますます存在感を高める千葉市稲毛区選出の阿部絃(あべ・こういち)県議は、自ら6項目の政策課題を掲げ、新年度予算編成でもその政策実現に向けて真摯な取り組みを見せてきました。中でも子育て支援の関連事業では、放課後児童クラブの施設整備事業や子ども医療費助成事業など、2月議会で現在審議中の新年度予算案に数項目にわたって予算計上され、阿部県議の要望が実現しています。2面では県民生活に関わる主な事業とその予算額の一部を紹介いたします。

医師不足など地域医療は崩壊寸前で、介護や福祉も課題山積です。医療・福祉面での人材育成に努め、安心して暮らせる地域社会が求められています。

安心して質の高い医療・福祉を受けられる体制整備

千葉県は、人口千人当たりの病院数や医師、看護師などの医療従事者数が全国平均を下回っています。いつでも必要な時に、必要な医療を受けられる、絶対にとら

千葉県内の治安状況は、県民の身近で発生する空き巣、ひったくり、自動車盗などの犯罪がまだ高水準で発生しています。特に自動車盗は、全国一と言われています。また、殺人や強盗といった凶悪犯罪も後を絶ちません。

災害に強く、安全・安心な地域社会づくり

また、地球温暖化などの影響により、風水害や土砂災害の増加が懸念されています。誰もが安心して暮らせる災害に強い県づくりが求められています。さらに、災害時の迅速な救助、医療救護などの応急対策、発災時のライフラインの早期復旧・復興を図り、総合的な防災対策を推進します。

災害や犯罪など、私たちの暮らしは不安がいっぱいです。災害に強いまちづくり、犯罪の防止が求められています。

総合的な学力向上と教育環境の整備へ

千葉県の子どもたちは、体力面では全国トップクラスにあり、読書好きで音楽も優秀です。学力については、全国平均程度で、潜在能力をさらに伸ばす必要があります。

教育現場の荒廃や学力低下は深刻です。学力向上を図り、心豊かな子どもたちを育てる「教育立県ちば」が求められています。

い回しにならない医療体制の整備が必要です。このため、必要な財源を確保し、救急医療や周産期及び小児救急医療体制の整備を進めるとともに、それを支える医師や看護師の負担軽減、技術支援を実施するなど、医療従事者の確保、定着対策、質の向上を図り

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見を聞かせてください

あべこう一 県事務所

〒263-0043 TEL.043-287-8595
 千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX.043-285-2192

阿部 絃 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

ます。また、障害者福祉への配慮も重要です。一方、高齢者が地域で安心して暮らせるよう地域包括ケアシステムの確立を目指し、介護サービス基盤の整備を図ります。介護福祉に携わる人材確保は、緊急かつ重大な課題です。

家庭の子育て力復活を!

充実した子育て支援

家庭の子育て力を復活させ、同時に社会全体として子育てしやすい環境づくりが求められています。

- 子ども健全な育成環境を確保するための支援
- 安心・安全な出産に向けた妊婦等への支援
- 放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携促進
- 地域における子育て力を育むコミュニティの活性化
- 児童の一時預かり、特定保育、休日・夜間保育、病児・病後児保育、認可外保育施設の衛生・安全対策事業など多様な保育サービスの推進

少子化社会に突入し、人口減少への危機感が叫ばれる中、家庭の子育て力を復活させ、同時に社会全体として子育てしやすい環境づくりが喫緊の課題となっています。

そこで、保育所の定員増をはじめとする子育て支援

雇用対策の推進と産業人材の確保・育成

若者に働く場がないのは、異常な社会です。当面の雇用の場を確保し、就業支援やスキルアップへの取り組みが求められています。

県内の雇用情勢は、有効求人倍率がリーマンショック前の水準に回復するなど、改善傾向にある一方、依然として若年者の失業率は高く、労働者全体に占める非正規雇用の割合は増加傾向にあります。

また、企業の規模や職

業能力の開発を支援するとともに、ミスマッチの解消を図り、中小企業にお

中小企業並びに商店街への支援の充実

高い技術力を持つ中小企業が集積する本県の優位性を生かすとともに、商店街が実施する地域を挙げた取り組みへの支援が求められています。

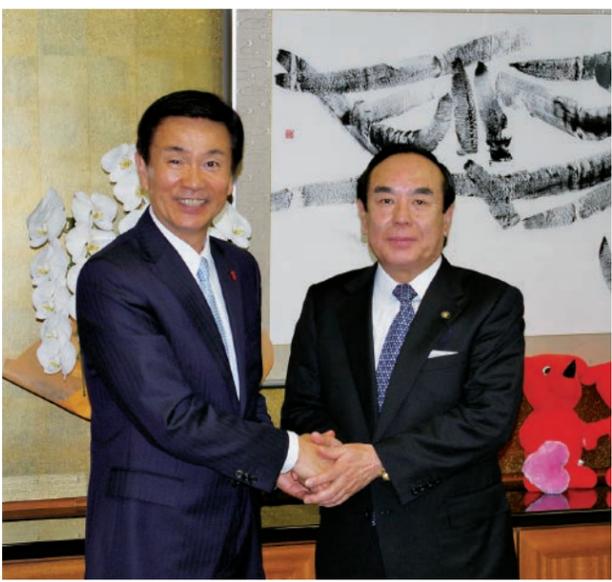
県内の中小企業の景況感は、極めて厳しいものがあります。高い技術力を持つ企業が集積する本県の新製品、新技術開発を進めるうえで、の優位性を活用し、中小企業の技術、技能の向上の支援及びその継承を進めるこ

ける人材確保や定着のための取り組みを支援していきます。

とが重要です。

また、地域の農林水産業と商工業が連携して、新たな商品やサービスの開発、販路開拓を行い、地域産業の幅広い活性化が期待できる「農商工連携事業」の推進が求められています。

また、商店街は地域の顔であり、地域の活性化にとても魅力ある商店街づくりは不可欠です。商店街が実施する地域を挙げた取り組みを支援します。



森田知事と県政推進で一致した阿部議長

県民生活に関わる主要事業

県は開会中の2月定例県議会に

新年度一般会計当初予算案を上げ、ただいま議会で審議中です。予算規模は、総額1兆7095億円余りで、過去最大となりました。アベノミクスの成果から、県内でも企業業績が回復基調にあり、法人税などが大幅に増収増となる見込みです。新年度予算案に阿部県議への皆様の要望が着実に反映されました。

とする事業として、市町村が地域の实情に応じて実施する放課後児童クラブ、病児保育、延長保育、一時預かり等の事業に要する経費に対し助成します。

放課後児童クラブ施設整備事業

2億4900万円

児童の健全な育成を図るため、仕事などで保護者が昼間家庭にいない児童の生活や遊びの場となる「放課後児童クラブ」の施設整備費に対して助成します。

放課後子ども教室推進事業

1億1400万円

すべての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する取り組みを推進します。

子ども医療費助成事業

67億円

子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的な負担の軽減を図るため、子どもの疾病にかかる医療費を助成します。対象は、入院は中学校3年生まで。通院は小学校3年生まで。

また現物給付として、保護者は医療機関の窓口で受給券を提示すると、受給券に記載された自己負担300円で医療サービスが

受けられます。

ちばっ子「学力向上」総合プランの推進

1億5651万円

児童生徒の学力向上のため、放課後学習の充実、体験学習など多様な学習機会の提供、魅力ある授業づくりなどに取り組みます。

特別支援学校整備事業

7億4900万円

特別支援学校の児童生徒の増加に伴う過密化・教室不足に対応するため「県立特別支援学校整備計画」に基づき、高校等の空き校舎を活用した整備を進めます。

修学資金の貸付による医師・看護師の確保対策

6億1782万円

地域に必要な医療の安定的な提供を図るため、医学部生や看護学生に対する修学資金の貸付対象者数を拡充し、医師・看護師の確保対策を一層強化します。

東電へ賠償請求

東日本大震災に関する県の災害復旧・復興本部は、福島第1原発事故による東京電力への損害賠償請求のうち未賠償の約9800万円分について、原子力損害賠償紛争解決センター(原発ADR)に和解の仲介を申し立てることにしました。

阿部県議への要望が着実に反映!